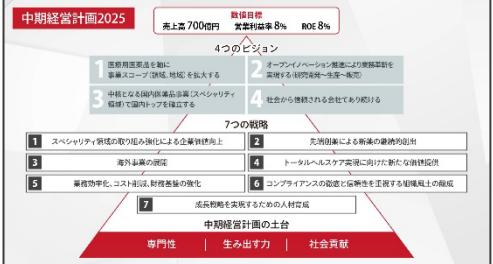


「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要	画面	ナレーション
経営理念・目指す姿		<p>私たち、あすか製薬ホールディングスは 「先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する」を 経営理念とし、 「スペシャリティファーマを基盤とする トータルヘルスケアカンパニー」を を目指しています。</p>
歴史（過去～現在）		<p>始まりは1920年。 山口八十八(やまぐち やそはち)が、ホルモン製剤のパイオニアとして 「帝国社臓器薬研究所(じょ)」を創立し、 その後、2005年に「あすか製薬株式会社」が誕生。</p>
あすか製薬HDの全体像（ホールディングス化）		<p>2021年にホールディングス体制に移行し、 医療用医薬品事業を中核に、 アニマルヘルス事業、検査事業の3つの事業を展開しています。</p>

「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要	画面	ナレーション
中期経営計画2025 (3つの土台、4つのビジョン 7つの戦略)		中期経営計画2025(にせんにじゅうご)では4つのビジョンの実現に向けて、専門性、生み出す力、社会貢献を土台に、7つの戦略を推進しています。
最重要課題		また、私たちは、持続的な成長に向けた重点領域を明確化するため、既存のマテリアリティを6つに再編しました。そのなかでも「女性の健康とアニマルヘルスに貢献する」は、当社グループならではの価値創造を通じて実現していきます。
あすか製薬 (グループの中核)		女性医療の分野で社会貢献を進める「あすか製薬」は、当社グループの売上高の約(およそ)90%を占める医療用医薬品事業に注力しています。

「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要	画面	ナレーション
あすか製薬 (女性医療の重要性)		<p>近年、月経困難症などに代表される女性特有の疾患の罹患数(りかんすう)が増加傾向にあり、大きな社会課題となっています。月経随伴症状による年間の経済損失額は4,617億円に上ります。</p>
あすか製薬		<p>そんななか、あすか製薬は、月経随伴症状を改善する医薬品の提供や疾患啓発活動を通じて、年間813億円の経済損失の削減に貢献しています。</p> <p>また、これらの疾患啓発の取り組みの一環として、「女性のための健康ラボMint+（ミント）」を運営しており、ウェブサイトを中心に情報発信を行うことで、女性の健康をサポートしています。</p> <p>私たちは、産婦人科領域の国内売上No.1のリーディングカンパニーとして、予防から検査・診断・治療そして予後までを見据えたアプローチで、社会課題の解決に貢献していきます。</p>
あすか製薬		<p>ここで、「あすか製薬」の主力製品をご紹介します。</p>

「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要	画面	ナレーション
「レルミナ」「ドロエチ」	<p>あすか製薬株式会社</p> <p>2024年度 売上高</p> <p>子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」 105億円</p> <p>月経困難症治療剤「ドロエチ」 75億円</p> <p>産婦人科領域 全体 281億円</p> 	<p>2024年度、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤の「レルミナ」は105億円、月経困難症治療剤の「ドロエチ」は75億円を売り上げ、産婦人科領域全体の売上高は281億円に達しました。</p> <p>これにより、2022年度下期から引き続き国内トップシェアを維持しています。</p>
「スリンダ」	<p>あすか製薬株式会社</p>  <p>経口避妊剤「スリンダ」 日本初承認の黄体ホルモン単独製剤</p>	<p>また、日本初の黄体ホルモン単独の経口避妊剤「スリンダ」の早期市場定着を図っています。</p>
「リフキシマ」「チラーチン」	<p>あすか製薬株式会社</p>  <p>肝性脳症治療剤「リフキシマ」</p> <p>甲状腺機能低下症治療剤「チラーチン」</p> <p>医療関係者から支持され、堅調な業績を牽引</p>	<p>内科領域の肝性脳症治療剤の「リフキシマ」や甲状腺機能低下症治療剤の「チラーチン」も医療関係者から支持され、堅調な業績を支えました。</p>

「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要

画面

ナレーション

「海外事業」



海外事業では、
ベトナムのHataphar(ハタファー)社を連結子会社化。
さらに、
フィリピンのMedChoice Pharma(メドチョイス ファーマ)社と提携。
人口増加や経済成長に伴う医療ニーズが高まる東南アジア地域での
事業拡大を進めています。

「フェムテック」



また、女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する
「フェムテック」の取り組みも引き続き進めています。

「20周年」



あすか製薬は、2025年10月1日に、20周年を迎える
記念企画として社会貢献プロジェクト『Wings of Women』を始動しました。
医薬品提供の枠を超えて、女性の毎日に多角的に寄り添うことをを目指し、
さまざまな仲間とともに、女性が自分らしく羽ばたける未来を描いていきます。

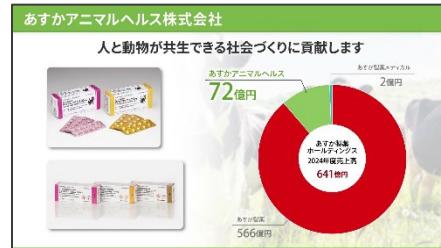
「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要

画面

ナレーション

あすかアニマルヘルス



アニマルヘルス事業を推進する「あすかアニマルヘルス」では動物の健康と食の安全を守り、人と動物が「共生」できる社会づくりに貢献するために動物用の医薬品や飼料添加物を販売。アニマルウェルフェア（動物福祉）にも取り組んでいます。

2024年度の売上高は、グループ全体の11%を超える72億円にまで成長し市場の伸長率を上回る伸びを示しています。

あすか製薬メディカル



最後に、「あすか製薬メディカル」では最新の測定技術を通して豊かな健康社会づくりに貢献するために検査事業に特化し、爪や毛髪だけで検査が可能な内因性ホルモンの検査キットなどを販売。

多岐にわたる領域の検査キットやバイオマーカーの開発、環境モニタリングなどを通じて、皆さまのトータルヘルスケアに貢献しています。

「動画で見る統合報告書 ASKA HD REPORT 2025」スクリプト

概要	画面	ナレーション												
直近の業績	<p>決算ハイライト</p> <p>2025年3月期の決算で過去最高の売上高を4期連続[※]で更新</p> <table><tbody><tr><td>売上高(連結)</td><td>641億円</td><td>(前同比2.1%増加、過去最高を更新)</td></tr><tr><td>売上原価</td><td>328億円</td><td>(売上原価率 前同比0.1ポイント改善)</td></tr><tr><td>販管費及び一般管理費</td><td>260億円</td><td>(売上高販管費率 前同比2.0ポイント増加)</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>53億円</td><td>(前同比18.0%減少)</td></tr></tbody></table> <p><small>※2021年3月期～2024年3月期</small></p>	売上高(連結)	641億円	(前同比2.1%増加、過去最高を更新)	売上原価	328億円	(売上原価率 前同比0.1ポイント改善)	販管費及び一般管理費	260億円	(売上高販管費率 前同比2.0ポイント増加)	営業利益	53億円	(前同比18.0%減少)	以上の3つの事業間のシナジー効果により収益の最大化に取り組んだ結果、2025年3月期の決算では、研究開発費の増加に伴い販管費は増加したものの、売上高は641億円となり、ホールディングス体制へ移行してから、4期連続で過去最高を更新しました。
売上高(連結)	641億円	(前同比2.1%増加、過去最高を更新)												
売上原価	328億円	(売上原価率 前同比0.1ポイント改善)												
販管費及び一般管理費	260億円	(売上高販管費率 前同比2.0ポイント増加)												
営業利益	53億円	(前同比18.0%減少)												
コーポレートメッセージ		私たちは、ホルモン製剤のパイオニアとして、「あすも、みらいも、すこやかに」をコーポレートメッセージに掲げ、すこやかな人生を歩む一人ひとりのために、人と動物が幸せに暮らす社会のために、挑戦し続けます。												
あすか製薬HDへの期待		2025年6月に就任した新社長を中心とする新体制のもと、「中期経営計画2025 (にせんにじゅうご)」の目標達成に向けて着実に取り組むとともに、次期中期経営計画を力強く推進していきます。今後とも、あすか製薬ホールディングスのさらなる成長にご期待ください。												

END